

# 高濃度ビタミンC点滴療法について

## <高濃度ビタミンC点滴療法とは>

2005年に米国・公的機関／国立衛生研究所(NIH)の科学者が衝撃的発表をしました。

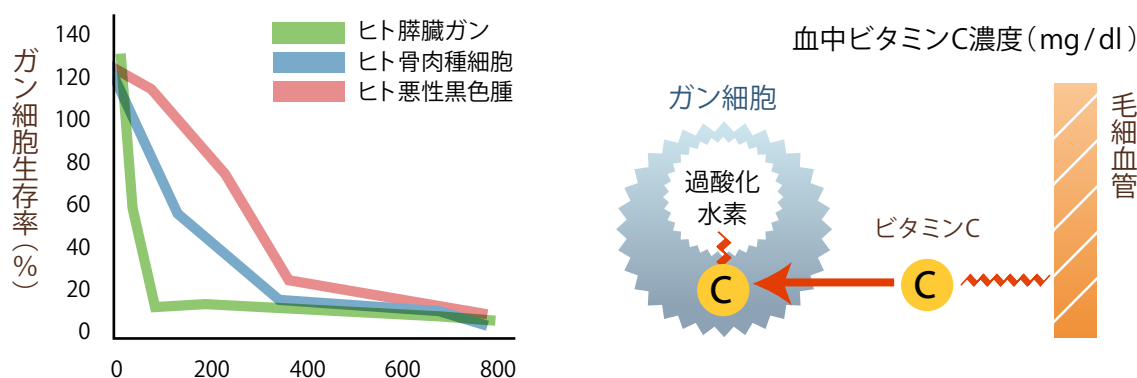
『高濃度アスコルビン酸(ビタミンC)点滴は、癌(がん)細胞に対してだけ選択的に毒性として働く』という内容です。

ビタミンCは自分が酸化されることで強力な抗酸化作用を発揮しますが、その際に大量の過酸化水素が発生します。

血中に投与された時、正常な細胞は過酸化水素を中和できますが、癌(がん)細胞はこれを中和できず死んでしまうというのです。つまり、高濃度のビタミンCはガン細胞にとって《抗癌(がん)剤》でもあるわけです。

この作用は、ウィルス感染症治療に対しても役立つと発表しています。

ビタミンCは通常の抗癌(がん)剤とは異なり副作用がないのが特長です。癌(がん)細胞に対しての選択的攻撃力が高く、現在、癌(がん)手術後の再発防止、癌(がん)の新たな補助療法として、米国・国立癌研究所(NCI)、米国・国立衛生研究所(NIH)において研究が進められている、最先端の癌(がん)治療法です。



## <高濃度ビタミンC点滴療法の実際>

癌(がん)の病状により異なりますが、一例を挙げると、1回の点滴量を500ccとし、ビタミンCを75g、その他各種ビタミン、ミネラル類、アルファ・リポ酸などを調合した高濃度ビタミンC溶液を作り、これを約2時間かけて点滴するものです。点滴回数と頻度は、週に1～2回の点滴を行い、3ヶ月間でその効果を確認し、さらに調整していきます。高濃度ビタミンC点滴はガン患者の病状に合わせて適切に薬剤を配合し、効果的かつ安全に実施するもので、治療には点滴療法の深い知識と経験が必要です。

## <適応症>

- ・ガンの有効な治療法がない方
- ・これから手術を控えている方
- ・抗ガン剤や放射線治療の副作用が強くて続けられない
- ・抗ガン剤や放射線治療の無効の方
- ・抗ガン剤や放射線治療と併用する方
- ・再発・予防に対して

## <高濃度ビタミンCが適さない方>

点滴療法は、腎臓機能の低い方や栄養状態の悪い方、脱水症状の方、現在透析中の方はこの治療を受けることが出来ません。高濃度ビタミンC点滴療法は代替医療です。

すでに有効な抗ガン剤に代わるものではありません。